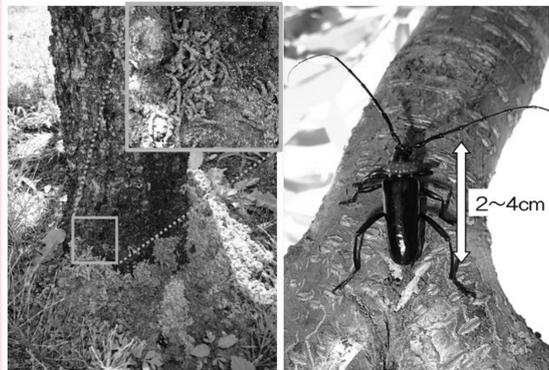
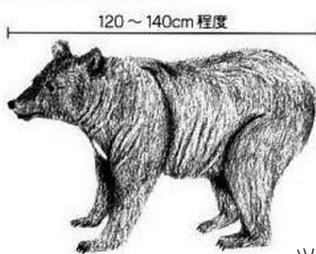


# クビアカツヤ カミキリにご注意!



クビアカツヤカミキリ成虫(写真右)。幼虫が排出し、被基に堆積したフラス(木くずと糞の混じったもの。写真左)

- クビアカツヤカミキリの幼虫がモモ、ウメ、サクラ等の樹木内部を食い荒らし、衰弱、枯死させる被害が県南地域で拡大し深刻化しています。
- 被害拡大防止のため、クビアカツヤカミキリを発見したときは、ご連絡ください。
- ▼問合せ
- 農業環境指導センター  
☎0287-626-3086
- 那須農業振興事務所  
☎0287-22-2826



ツキノワグマの特徴

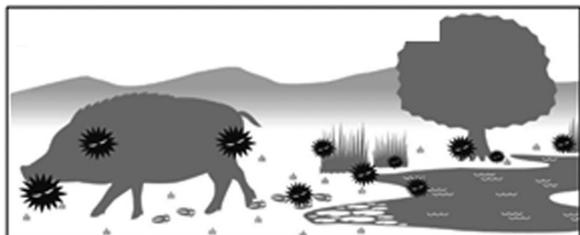


- クマは6月~11月半ばにかけて行動が活発になります。クマに出会わないよう注意しましょう。
- ▼クマを人里へ寄せ付けないために
- ・生ゴミや不要となった農作物は放置せず、土に埋めるなど適切に処理する。
- ・犬や猫のエサ等は建物内に入れておく。
- ・収穫予定の無い果樹は伐採するか実を全て除去する。
- ▼クマと出会わないために
- ・クマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。
- ・一人での行動は避け、音が鳴るものを携帯し存在を知らせる。
- ・朝や夕方は特に注意する。
- ▼クマに出会ってしまったら
- ・静かにゆっくりとクマから離れる。
- ・クマに背を向けて、走って逃げない。
- ・グループで固まる。
- ・子グマには絶対に近づかない。
- ▼ツキノワグマの特徴
- ・臆病でおとなしい。
- ・嗅覚がするどい。
- ・木登りがうまい。
- ・人より足が速い。
- ・食べ物のほとんどは、植物の実や芽、葉、ハチやアリ、死んだシカなども食べる。
- ・体重は大人のオスで80kg程度、メスで60kg程度。
- ▼問合せ 農林振興課林務係  
☎(7)6912

## 豚熱(CSF)感染拡大 防止にご協力ください

- 令和2年12月に湯本地内の野生イノシシに豚熱(CSF、旧名称・豚コレラ)の感染が確認されて以降、近隣市町の養豚場でも感染が確認されました。豚熱(CSF)の特徴を確認し、感染拡大防止に努めましょう。
- また、畜産農家の方は、引き続き飼養衛生管理を徹底し、早期発見のために毎日観察のうえ、飼養豚に豚熱(CSF)が疑われる症状がみられる場合には、県北家畜保健衛生所へご連絡ください。
- ▼豚熱(CSF)とは
- 豚およびイノシシの病気で人には感染しません。仮に豚熱(CSF)に感染した豚、イノシシの肉を食べても人体に影響はありません。
- また、養豚場内で豚熱(CSF)の感染が確認されると防疫措置のため全頭殺処分となり、市場に流通することはありません。
- ▼野生イノシシに近づかない
- 突進されてけがをするなど、大変危険です。イノシシの生息場所(山林など)にはウイルスが付着している可能性がありますので、立ち入った場合は、養豚場には近づかないでください。
- ▼死亡したイノシシ発見時の連絡

### 豚熱ウイルスが付着しやすい場所の例



- 死亡した野生イノシシを発見した場合は決して近寄らず、県北家畜保健衛生所または町農林振興課へご連絡ください。
- 万が一、イノシシに触れた場合は、よく手を洗ってください。
- ▼養豚場、県、町の取り組み
- ・県内全養豚のワクチン接種
- ・養豚場周辺の防護柵設置
- ・消毒液や石灰等による消毒
- ・イノシシ捕獲の強化
- ・イノシシ出沒地における経口ワクチン散布
- ・捕獲、死亡イノシシの検査など
- ▼問合せ
- 県北家畜保健衛生所  
☎0287-36-0314
- 農林振興課畜産係  
☎(7)6911